

銀杏坂

～輝く薩摩中央～

令和8年4月22日(水)

令和8年4月22日(水)付南日本新聞に地域みらい留学生の体験活動の記事が掲載されましたので、紹介します。

みらい留学生らが タケノコ掘りに汗 さつま

新年度からさつま町で新生活を始めた薩摩中央高校の地域みらい留学生2人と地域おこし協力隊2人が、町内でタケノコ掘りを初体験した。地元で親しんでも

掘ったタケノコを手にする協力隊員や高校生

さつま町泊野



らおうと町が企画。4人は懸命にくわを振るい収穫に汗を流した。

留学生は、同校1年の宮崎健太さん(茨城県出身)と小川和真さん(大阪府出身)。ともに生物生産科で学ぶ。協力隊は、河合楓奈さん(29)と岐阜県出身の平田竜暉さん(28)と三島村出身の薩摩中央高の魅力発信や地域との連携、生徒への学習・進路支援などに取り組む。

同町泊野の三腰佐昭さん(85)が50年以上かけて整備してきた竹林で18日あった。敷地には多くのモウソウウ竹が生えており、4人は何度もくわを入れて収穫。それぞれ「難しい」「きついな」と言いながらも「楽しかった」「いい体験になった」と笑顔を見せた。

(中島裕一郎)